

2024年4月24日

[配信枚数 3 枚]

発信元 滋賀大学広報課

報道関係者 各位

イベントで終わらせない稲作体験学習を目指して — 田植えを通して食と農をめぐる環境について考える —

4月27日、28日に教員を目指す学生たちが農業体験学習で田植えを行います。

日時		内容	場所
4月27日(土)	8時30分～ 14時30分	田植え体験 1グループ1時間半の予定で、 2日間で8グループが体験	大津市 大石淀1丁目2 (別添の通り)
4月28日(日)			

※小雨決行。大雨の場合は5月3日、4日に延期。

※延期の判断は当日早朝に行います。

[背景]

小学校などで行われる米作り体験学習は、生産者の田んぼで実施されることも多く、学校から田んぼまでの移動時間などの制約で、米作りの途中の工程を子供たちが知らないまま、田植え、稲刈りがイベント的に実施されていることがあります。教員は、稲の成長の様子や生産者の仕事や思いなどを子供たちに伝えて、単なるイベントで終わらないように体験学習をコーディネートする必要があります。そこで、教員を目指す学生たちは田植えや稲刈りなどの体験をベースに、環境・農・食や人との繋がりについてグループで課題を設定し、探究的な学習を行っていきます。

[概要]

この取り組みは、教育学部教養科目「環境教育概論」で行うものです。今回、学生たちは自然環境に配慮して栽培される「みずかがみ」の田植えをし、今後は稲刈りや、収穫したお米を使っ
ての炊飯や日本酒の仕込みなどを行い、その体験をベースにした探究的な学習を行います。
また、本年度は一般の方にも食・農・環境について考えてもらうきっかけとなるように、小学生と
その保護者を対象とした田植え体験も同時に行います(4月28日 10:00～11:30、13:00～14:30
詳細は <https://www.edu.shiga-u.ac.jp/news/27395/> をご参照ください)。

このプロジェクトでは、地域の生産者である植村喜代司(うえむら・きよし)様、北島酒造株
式会社(湖南市:蔵元 北島輝人(きたじま・てるひと))様に多大なご協力、ご指導を頂いて
います。

●取材に関するお願い

取材される場合には、4月26日17時まで下記問い合わせ先までご連絡をいただけますと幸いです。



昨年の農業体験学習の様子

●本件に関するお問い合わせ

滋賀大学広報課

TEL : 0749-27-7524 E-mail : koho@biwako.shiga-u.ac.jp



地図データ ©2022 100 m

	県道783号 経由	7分 600 m
	県道783号 経由	7分 600 m
全ルートがほぼ平坦		▼

ライブ交通情報 高速 低速